

大学の**実力**

Special Edition
www.yomiuri.co.jp/ad/daigaku

キャリア支援については、キャリアセンターが正課授業のキャリア教育と連携しながら1年次からの支援プログラムを実施。年次ごとに段階的に社会人としてのスキルを身につけながら就職活動で力を発揮できるようサポートを行っている。この必要となる3年次生については、全員を対象とした個人面談を実施するほか、企業の社長と行動を

共にする社長弟子入りプログラム「シエクト」や「ハネルアス」などの形式の学内業界セミナー等の取り組みが行われている。文学部は伝統的に国語教員志望者が多く、教員免許取得率は5割を超える。国際政治経済学部でも中高の社会科の教員免許が取得できる。また両学部とも玉川大学との連携により小学校教員の

資格を取得可能。そこで教員志望者には「教職支援センター」が教員採用試験合格講座や情報提供、個別指導を行うほか、全国に広がる卒業生教員のネットワークを活用し、教育現場で直面する問題を共に考え、現役学生との情報交換や交流の場となる「二松学舎大学教育研究大会」を開催している。また平成23年度からは、国語科教員として

高い専門性・資質向上を図る「国語科教員養成特別コース」を設けている。公務員志望者には平成25年度から2年次生を対象に「公務員試験専門 喜治塾」が担当する公務員試験準備およびSPI対策講座を、今年度から3年次生向けに公務員試験準備講座を開講。個々人の希望進路に合わせたきめ細かいサポートを行っている。

国際政治経済学部は、国際社会を俯瞰するとともに高い専門性を備えた人材の育成を目指している。「1年次では政治・経済、法

学国際関係の基礎を学ぶほか情報関連の授業が必修です。2年次で専門への橋渡しとなる「プレッ・ゼミ」を受講し、3年次からは国際政治・国際経済・法行政の3つの専攻に分かれ、少数ゼミで専門性を深めています。菅原淳子国際政治経済学部長。「さらに、基礎科目と必修の英語科目については、数学と英語のバランスを重視し、習熟度別のクラスを編成。個々人がその理解度に合わせた学びの仕方を伸ばす授業を受けることができます」という。

また実践的な英語力を身につけるため、すべて英語で授業を行う英語特別プログラムを開講しているほか、1年次から正課の授業にキャリアデザインが組み込まれているのも特徴だ。

希望の進路実現へ向けた一貫性のあるキャリア支援



2014年12月竣工予定の、九段キャンパス4号館完成予想図



二松学舎大学の卒業生でもある大蔵流の演者による狂言の授業(文学部)

「文学部は、伝統も大切にしながら現代に通用する表現力やコミュニケーション力といった文学部ならではの社会人力社会に対する発信力を育てることを目的としています。学びの基礎は言葉であり、国文学・中国文学を中心として、さらに身体映像・外国語、書道などさまざまな表現を学びます。江藤茂博文学部長。専攻を選ぶ指針となるよう、1、2年次で元宝家の女優

出版人・女性起業家などによる講座も受講。3、4年次は少人数の専門ゼミで学び卒業研究をまとめる。国文学科・中国文学科共に幅広い科目を抱えるだけに、個人が学びたい方向を確実につかめるよう配慮したカリキュラムとなっている。文学部の学びは、一生のものです。本学部では文学部に求められる表現力のクオリティと、社会科学系学科に負けない社会人力を持つ学生を育てたいと江藤学部長はいう。

国際政治経済学部は、国際社会を俯瞰するとともに高い専門性を備えた人材の育成を目指している。「1年次では政治・経済、法

学国際関係の基礎を学ぶほか情報関連の授業が必修です。2年次で専門への橋渡しとなる「プレッ・ゼミ」を受講し、3年次からは国際政治・国際経済・法行政の3つの専攻に分かれ、少数ゼミで専門性を深めています。菅原淳子国際政治経済学部長。「さらに、基礎科目と必修の英語科目については、数学と英語のバランスを重視し、習熟度別のクラスを編成。個々人がその理解度に合わせた学びの仕方を伸ばす授業を受けることができます」という。

また実践的な英語力を身につけるため、すべて英語で授業を行う英語特別プログラムを開講しているほか、1年次から正課の授業にキャリアデザインが組み込まれているのも特徴だ。

二松学舎大学

都心の九段キャンパスという立地を最大限に活かし、卓越した国語力を基礎に専門的な学びと社会力を深める

九段キャンパスの機能性を強化 都心での学習環境がさらに充実

二松学舎大学は明治10年10月10日、漢学者で法曹界の重鎮でもあった三島中洲により創設された。現在文学部・国際政治経済学部の2学部が創立の地・九段キャンパスで、日本の文化を理解し、東洋の精神に基づく道徳心を身に付けた真の国際人育成を目的とした教育を行っている。

明治の激動期に創設され、夏目漱石、中江兆民、犬養毅、嘉納治五郎、平塚雷鳥など日本の文化や政治に大きな影響を与えた人々が学んだ二松学舎大学。平成24年の105周年を機に教職員・学生の保護者、卒業生に「二松学舎への期待」についてのアンケートを実施。2020年を担うであろう若手教職員のフィードバックによる検討をもとに、全学あげての長期ビジョン「2020プラン」を策定した。この試みは経営基盤強化に貢献する先進的な取り組みとしても高く評価され、文部科学省の未来経営戦略推進経費にも採択されている。

文学部と国際政治経済学部 それぞれの学びの特色

二松学舎大学は、伝統の文学部と、グローバル化時代に対応して創設された国際政治経済学部の2学部を擁する。いずれも1年次では導入教育・基礎ゼミによって大学で学ぶ基礎力を養い、2年次からは段階的に専門の世界に触れながら自らのテーマを深めていくカリキュラム構成になっている。

「文学部は、伝統も大切にしながら現代に通用する表現力やコミュニケーション力と

出版人・女性起業家などによる講座も受講。3、4年次は少人数の専門ゼミで学び卒業研究をまとめる。国文学科・中国文学科共に幅広い科目を抱えるだけに、個人が学びたい方向を確実につかめるよう配慮したカリキュラムとなっている。文学部の学びは、一生のものです。本学部では文学部に求められる表現力のクオリティと、社会科学系学科に負けない社会人力を持つ学生を育てたいと江藤学部長はいう。

国際政治経済学部は、国際社会を俯瞰するとともに高い専門性を備えた人材の育成を目指している。「1年次では政治・経済、法



国際政治経済学部の教員が受験生向けに執筆した「都心で学ぼう！国際政治経済」第2弾「都心から世界へ！」も刊行予定

を過ぐるよう整備が進められている。

今年12月には九段キャンパス1号館3号館から徒歩3分の場所に4号館を竣工予定だ。これに伴いライニング・コモンズ(学生間のグループ学習などを行いやすい施設やICTなど次世代型学習環境や、学生のメンタルヘルスを担う相談室・保健室を拡充する)とともに、既存の1〜3号館の施設も見直し、キャンパス全体でより機能的なレイアウトへと変更する。

1号館には両学部専任教員の研究室や事務機能を集約し、手続き等のフロントサービス化を目指す。2号館1階はライニング・コモンズ・自習室などにあて、図書と連携した総合的な学習環境を整える。新設される4号館には1階にエントランスホールや講師室の階にライニング・コモンズ、3階には120人収容の大教室、7、8階は60人収容の中教室、9階には東アジア学術総合研究所を置く予定だ。

二松学舎大学ではこれら1〜4号館を結ぶエリア一帯を大学キャンパスとして捉え、環境づくりを進めている。



普通の授業で作品を制作する学生(文学部)

Open Campus

日時 **8月9日(土)・10日(日)**
10:30~15:00

会場 **九段キャンパス**

- 内容
- ◆模擬授業 ◆ゼミナール紹介
 - ◆入試個別相談 ◆就職相談
 - ◆キャンパスツアー
 - ◆クラブ・サークル紹介 など

【特別企画】

にめぐちつかさ
耳目口 司 さん(ライトノベル作家・本学卒業生)の講演会

学食無料体験できます

〈アクセス〉東京メトロ・都営地下鉄「九段下」駅より徒歩8分
JR・東京メトロ「飯田橋」駅より徒歩15分

都心ではじまる 学びの世界



3号館

1号館・2号館

4号館(建設中)